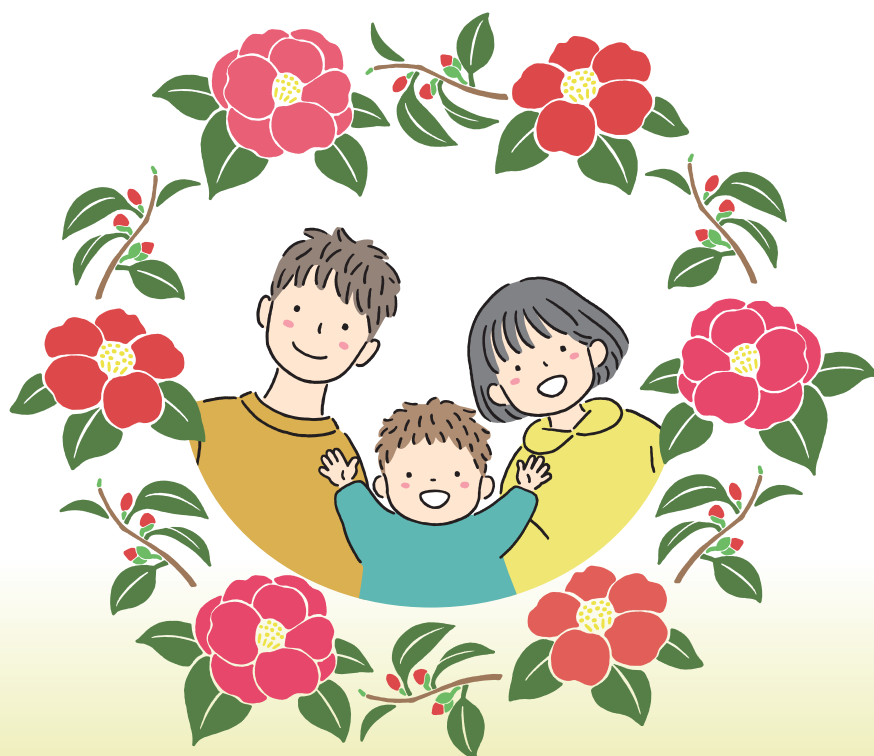


第3次大船渡市環境基本計画 概要版

「豊かな環境を ともに守り育て
未来につなぐまち 大船渡」
を目指して



令和5年2月
大船渡市

はじめに

私たちの住む大船渡市は、景観に優れた三陸復興国立公園
基石海岸や五葉山県立自然公園を有する、海・山・川などの
豊かな自然環境に恵まれたまちです。

市では、この豊かな自然環境を次の世代に引き継いでいく
ための今後10年間の目標と取組などを示した「第3次大船
渡市環境基本計画」を令和5年2月に策定しました。

この計画は、市民や事業所みなさんと市が一体となっ
て、環境に関する取組を進めるためのものです。



SDGsの視点を取り入れ計画を策定しています

SDGsとは、環境、経済、社会それぞれの課題を解決し、持続可能な社会を作るため
に、2030年までに達成すべき国際社会全体の目標です。

地球上の誰一人として取り残さないために、一人一人が行動を変えていけるよう、持続可
能な社会づくりに必要な知識とスキルを得ることなどがが必要です。

第3次大船渡市環境基本計画では、SDGsの視点を取り入れ、環境課題の解決を目指す
ことで、経済や社会の課題までも一体的に解決させるような取組を進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



望ましい環境像と5つの基本目標

第3次大船渡市環境基本計画では、市が目指す望ましい環境像を「豊かな環境を ともに守り育て 未来につなぐまち 大船渡」と設定し、これを実現するため、5つの基本目標を定めました。

計画では、この基本目標のもと、市民、事業者、市が一体となって、環境の保全及び創造に取り組んでいくこととしています。

■望ましい環境像

豊かな環境を ともに守り育て 未来につなぐまち 大船渡

■基本目標（望ましい環境像を実現するための5つの目標）

- 基本目標
1
気候変動に対応した持続可能なまちをめざします
- ・省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの利用促進等により地球温暖化対策を進めます
 - ・気候変動による影響を回避・軽減します
- 基本目標
2
生活環境が良好な安心してくらし続けられるまちをめざします
- ・澄んだ空気を守ります
 - ・恵み豊かな水の環境を守ります
 - ・安全で快適な生活環境を守ります
- 基本目標
3
生物多様性を確保し人と自然が共生できるまちをめざします
- ・動植物が生息・生育する豊かな自然を守ります
 - ・自然や歴史的資源を生かした景観の保全と活用を進めます
- 基本目標
4
地球環境に配慮したきれいで資源が循環していくまちをめざします
- ・循環型社会の形成に向けごみ減量化や資源のリサイクルを進めます
 - ・きれいなまちを保つため環境美化を進めます
- 基本目標
5
協働による環境保全に取り組むまちをめざします
- ・環境への理解と意識を高めます
 - ・協働による環境保全を実践します

基本目標

1

気候変動に対応した 持続可能な まちをめざします

気候変動とは？

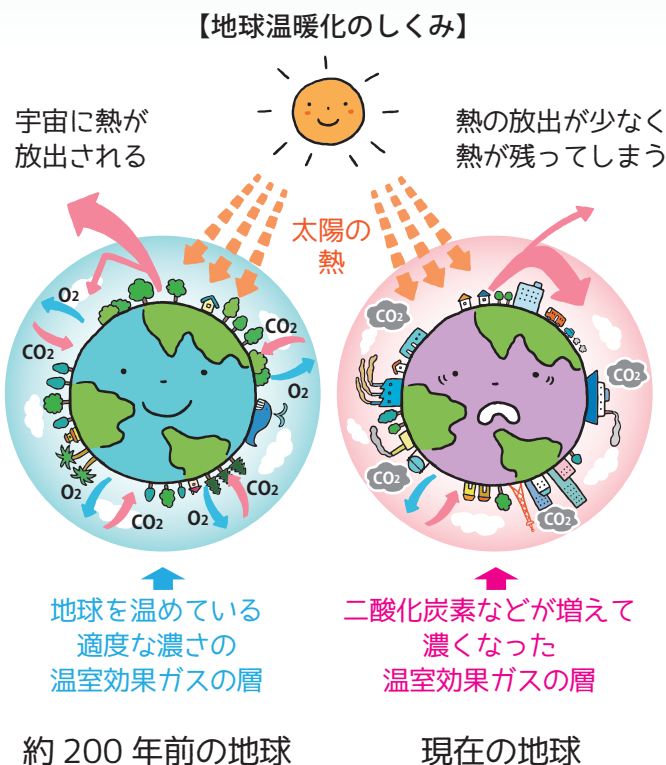
長い時間の中で起こる、気温などの変化を「気候変動」と言います。

産業革命前（約200年前）の地球は、右の図のように太陽からの熱で温められ、余分な熱は宇宙に放出されますが、その一部は大気中の温室効果ガスに吸収されて、地球全体の気温をほどよく保っていました。

しかし、現在の地球は大気中に温室効果ガスが増えすぎたことで、熱が逃げずに地球全体の平均気温が上がっていく「地球温暖化」が進んでおり、気候変動をもたらしています。

この気候変動によって、気温上昇、大雨の頻度や熱中症リスクの増加などの影響が現れており、そのリスクは今後更に高まることが予測されています。

気候変動をもたらす地球温暖化を防ぐために、省エネの取組、再生可能エネルギーの利用や森林整備などにより、温室効果ガスを減らしていくことが大切です。



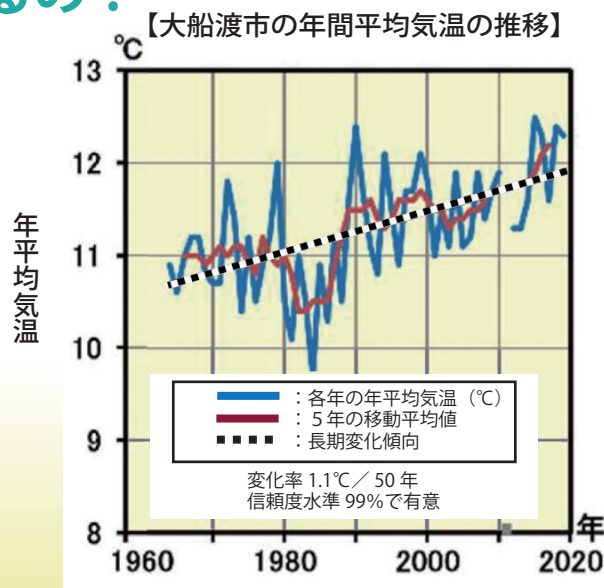
大船渡市の気候はどうなっているの？

大船渡市の気候はどのようになっているのでしょうか。

右の図は、1964年から2019年までの、大船渡市の年平均気温の推移を表したグラフです。

点線が、この期間の気温の変化を表しており、50年間で約1.1℃の割合で気温が上昇していることがわかります。

また、1日の降水量が50mm以上の年間日数や、年間夏日（最高気温が25℃を超えた日）日数も増加傾向となっています。



※信頼度水準：99%の確率で母集団から無作為抽出したサンプルのうち99%で母数を含む信頼区間を得られること

※2011年の値は資料不足のため用いない

出典：東北地方の気候の変化（仙台管区気象台）令和元年



取り組むこと

地球温暖化による気候変動に対処するためには、温室効果ガスを減らすことが必要であり、この取組を「緩和策」といいます。また、気候変動の影響にあらかじめ備え、防災や熱中症予防などに取り組むことを「適応策」といいます。

持続可能なまちを目指すため、緩和策と適応策により、気候変動の課題に取り組みます。

1-1 地球温暖化対策

【基本方針】

省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの利用促進等により地球温暖化対策を進めます

- ・温室効果ガスの排出量を減らす省エネルギー行動の推進
- ・地球の資源を活用する再生可能エネルギーの利用促進

1-2 気候変動の影響への適応

【基本方針】

気候変動による影響を回避・軽減します

- ・防災訓練の実施、ハザードマップの作成、河川や水路の整備など、防災・減災の推進
- ・気候変動に伴う熱中症などの疾病への注意喚起

実際に 行動してみましょう

温室効果ガスの排出量を減らすためには、節電などの省エネの取組が重要です。

また、気候変動によるさまざまな災害に対し、日ごろから備えておくことが大切です。

次の取組を参考に、省エネや災害時の備えを心掛けましょう。

OFF



こまめに
電気を消す



冷暖房の温度を
調整する



エコドライブを
心掛ける

※エコドライブ=急発進、急加速をしないなど、燃料消費量を抑えた運転



災害に備え、
避難場所の確認や、
非常持ち出し用品の
準備をする

基本目標

2

生活環境が良好な 安心して暮らし続けられる まちをめざします

良好な生活環境とは？

健康で快適な暮らしのためには、空気や水がきれいに保たれていることが必要です。

また、騒音、振動、悪臭などの問題がないことも良好な生活環境には欠かせません。

きれいな空気や水、良好な生活環境を保つためには、みなさん一人一人が環境にやさしい行動をすることが必要です。



清掃船「さんご丸」
(県からの委託により海面のごみを回収しています)

大船渡市の生活環境はどうなっているの？

大船渡市では、大気や水、騒音などの測定を行っています。

大気的环境については、現在、市内の2か所で空気中の細かいチリの測定を行っており、良好な状態となっています。

水的环境については、大船渡湾が「閉鎖性海域[※]」という地形のため、湾奥部において水質が一部環境基準[※]を超える項目がありますが、その他の海や川では良好な状態となっています。

騒音については、住宅地や商業地など市内の7か所で測定を行っており、全ての地点で昼間、夜ともに良好な状態となっています。



大船渡湾

※閉鎖性海域：湾の大きさに比べて外海と接している開口部が著しく狭く、外海との海水循環が困難な地理的特性を有する。

※環境基準：大気、水、騒音などの環境上の条件について、健康及び生活環境上維持されることが望ましい基準であり、行政上の政策目標である。



取り組むこと

空気や水が安全な状態に保たれ、騒音・振動・悪臭などの環境公害がない生活環境づくりに取り組みます。

2-1 大気環境

【基本方針】
澄んだ空気を守ります

- ・大気環境の監視や測定
- ・工場・事業場の監視や指導

2-2 水の環境

【基本方針】
恵み豊かな水の環境を守ります

- ・水質の監視や測定
- ・公共下水道の整備、合併処理浄化槽の設置促進

2-3 身近な生活環境

【基本方針】
安全で快適な生活環境を守ります

- ・騒音の測定
- ・振動や悪臭などの発生源への指導

実際に 行動してみましょう

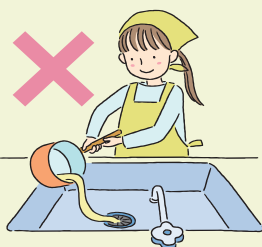
私たちが安心して気持ちよく住み続けられるまちにしていくため、次の取組を参考に、環境にやさしい行動をするよう心掛けましょう。



ごみの
野外焼却を
やめる



洗剤やせっけんは、
植物由来などの
水への影響が
少ない商品を使う



食用油を
排水溝に
流さない

※使用済の食用油は、市役所などで回収しています



騒音・振動や
悪臭を
出さないよう
努める

基本目標

3

生物多様性を確保し 人と自然が共生できる まちをめざします

生物多様性とは？

【生物多様性から受ける自然のめぐみ】

「生物多様性」とは、生物たちの豊かな個性とつながりのことをいいます。

右の図のように、私たちの生活は山や海など自然の恵みによって支えられていますが、近年は生活様式の変化などにより、自然と人との関わりが減りつつあります。

人と自然が共生し続けるため、里地・里山・里海を保全し、生物多様性を守っていくことが必要です。



出典：環境省

大船渡市の自然はどうなっているの？

大船渡市は、陸域が森林に覆われた広大な北上高地の一部にあり、海域は地形が複雑に入り組んだリアス海岸、美しい大海原が広がる太平洋などの豊かな自然に囲まれています。

近年は、「三陸ジオパーク」や「みちのく潮風トレイル」など、自然景観を観光などの資源として活用する取組が進められています。



五葉山のツツジ



基石海岸



取り組むこと

大船渡市には恵み豊かな海・山・川があり、そこには多種多様な動植物による自然生態系が形成されています。

この自然生態系を守っていくとともに、自然景観や文化財を観光資源として活用するなど、人と自然の共生に取り組みます。

3-1 自然生態系

【基本方針】

動植物が生息・生育する豊かな自然を守ります

- ・野生動植物の生息・生育環境の保全
- ・有害鳥獣や外来生物の対策

3-2 景観資源・身近な緑

【基本方針】

自然や歴史的資源を生かした景観の保全と活用を進めます

- ・自然景観を生かした観光地の環境保全
- ・都市公園等の適切な管理

実際に 行動してみましょう

豊かな自然や景観資源は、大切に守り続けていくことが必要です。
次の取組を参考に、自然保護や緑化活動などに取り組みましょう。



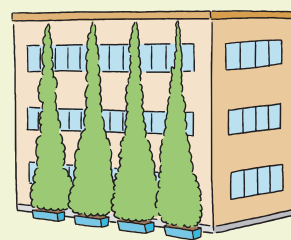
自然環境保全活動に
協力、参加する



希少野生動植物の
保護に努める



地域の自然や
歴史等を学び、
天然記念物や
文化財等を保護する



敷地や建物周辺の
緑化に努める

基本目標

4

地球環境に配慮した きれいで資源が循環していく まちをめざします

資源が循環していくための4Rとは？

4Rとは、Refuse「リフューズ」、Reduce「リデュース」、Reuse「リユース」、Recycle「リサイクル」の頭文字から4Rと呼ばれており、限りある資源を有効に利用するための右の図のような取組があります。

家庭から出るごみの中には、まだ食べられるのに捨てられてしまっている食べ物（食品ロス）があります。食品ロスは、資源を使いすぎているとも言え、これを減らすことは資源を守ることに繋がります。

4Rの取組を進め、ごみを捨てる社会から、ごみを再利用して無駄にしない資源が循環する社会へ変えることで、環境への負荷を減らしていくことが必要です。

Refuse リフューズ

ごみになるものを断る

マイバッグの利用により、レジ袋を断る、過剰包装を断るなど



Reduce リデュース

ごみになるものを減らす

食材の買い過ぎによる食品ロスをなくす、詰め替えできる商品を選ぶなど



Reuse リユース

繰り返し使う

ものを修理して長く使う、リサイクルショップを活用するなど



Recycle リサイクル

再生利用する

ごみを分別し資源回収に出す、再生原料を利用した商品を選ぶなど

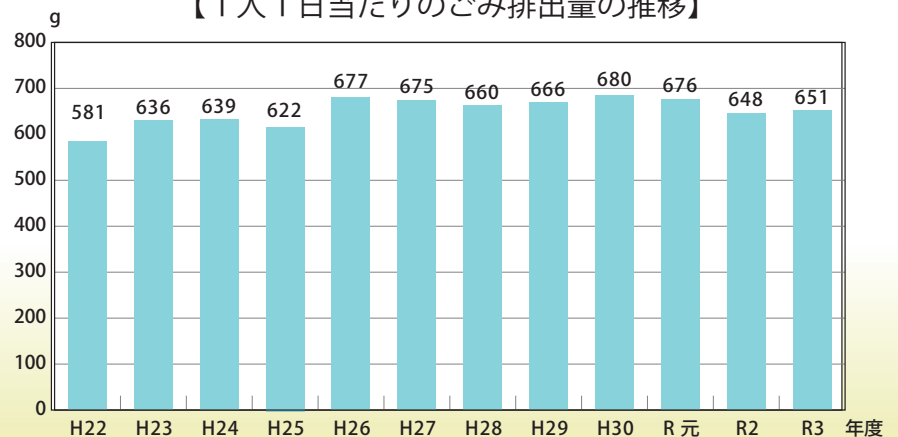


大船渡市のごみの量はどうなっているの？

大船渡市の家庭から出るごみの排出量は、人口減少により近年では減少傾向にあります。一人一人が出すごみの量はあまり減っていません。

ごみは焼却処理されており、処理する際には温室効果ガスである二酸化炭素が発生するなど、環境にも影響を与えます。ごみを資源としてリサイクルすることや、ごみを減らすことについて、みなさんが心掛けることが必要です。

【1人1日当たりのごみ排出量の推移】



出典：大船渡地区環境衛生組合ごみ排出量データを基に作成
ごみ排出量は家庭系ごみ(資源ごみを除く)の量



取り組むこと

「4R」により、ごみの発生抑制や再生利用に取り組みます。
また、一人一人がまちの環境美化に取り組みます。

4-1 廃棄物・リサイクル

【基本方針】

循環型社会の形成に向けごみ減量化や資源のリサイクルを進めます

- ・ごみの減量化・再資源化の推進
- ・廃棄物の適正処理

4-2 環境美化

【基本方針】

きれいなまちを保つため環境美化を進めます

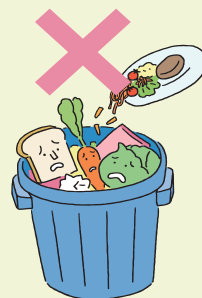
- ・環境美化・公衆衛生活動の推進
- ・不法投棄防止の対策

実際に 行動してみましょう

資源の有効利用や環境美化のため、次の取組を参考に、「4R」に取り組み、環境美化活動に参加しましょう。



ごみの分別を徹底し、
ごみの減量化と
再利用に努める



食品ロスを削減し、
ごみの減量化に
努める



市内一斉清掃や
クリーン作戦などの
環境美化活動に
協力、参加する



所有する
土地・建物や
近隣の環境美化に努める

基本目標

5

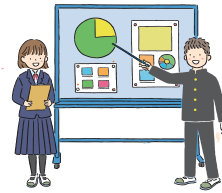
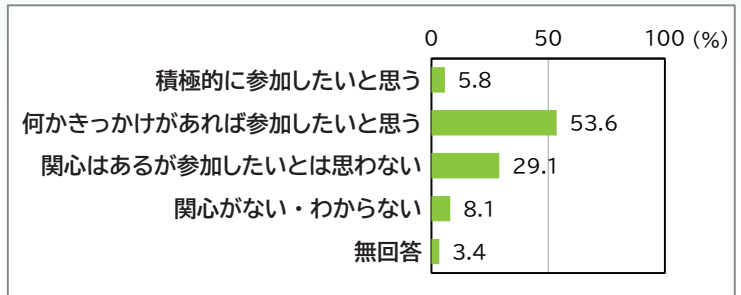
協働による 環境保全に取り組む まちをめざします

環境保全に取り組みましょう

気候変動への対応、生活環境の保全、自然との共生、資源の循環的利用などの環境問題を解決するためには、みなさん一人一人が環境について関心を持ち、理解を深めることが必要です。

市民のみなさんへのアンケート結果によると、環境保全活動について、「積極的に参加したいと思う」と「何かきっかけがあれば参加したいと思う」と回答した割合が 59.4%となっており、環境保全活動の参加に積極的な市民が多いことがうかがえます。

環境に関する講座や、地域の清掃美化活動などに参加しましょう。



環境教育・環境学習



環境保全活動・環境配慮

環境に配慮した生活をしましょう

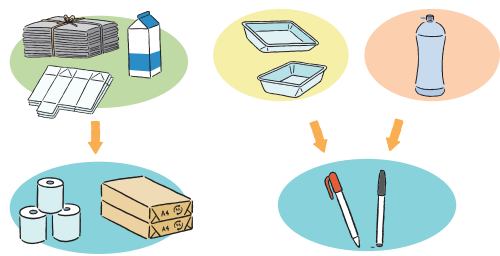
環境を保全するには、みなさん一人一人が環境に配慮した生活を送ることが大切です。例えば、日常生活で、環境にやさしい商品を購入することなども環境に配慮することになります。

買う前に必要か考える



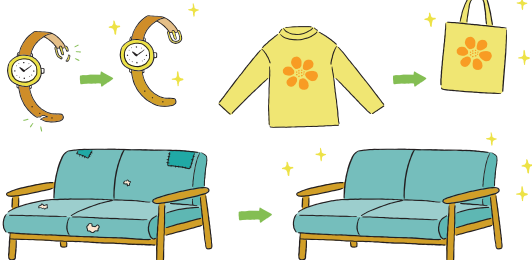
同じようなものや使いかけのものがなかったか考える

環境をを考えて作られたものを選ぶ



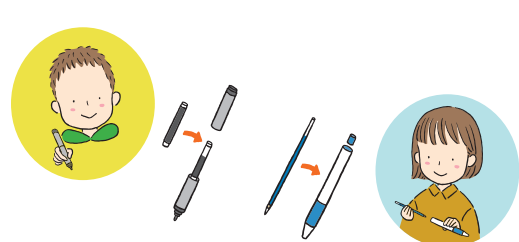
原材料がリサイクルされているものを選ぶ

長く大切に使えるものを選ぶ



修理、部品交換のしやすいものやリフォームできるものを選ぶ

使い終わったらごみが少なくなるものを選ぶ



中身を詰め替えることができる商品を選ぶ

参考：環境省「グリーン購入」



取り組むこと

環境問題は私たちの社会経済活動と深く関わっています。環境課題解決のため、市民、事業者、市の協働により、環境保全活動に取り組みます。

5-1 環境教育・環境学習

【基本方針】

環境への理解と意識を高めます

- ・環境教育の推進
- ・環境に関する情報提供

5-2 環境保全活動・環境配慮

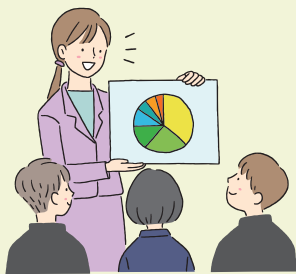
【基本方針】

協働による環境保全を実践します

- ・環境保全活動団体の支援
- ・環境配慮行動の推進

実際に 行動してみましょう

環境保全のため、次の取組を参考に、環境への理解を深め、環境に配慮した行動を実践しよう心掛けましょう。



環境に関する研修会・講座等に参加し、環境について学ぶ



環境について学んだことを、家族・地域・学校等で話し合う




再生原料を利用した商品等、環境に配慮した商品を購入する



家や学校で、リサイクルできるものは何があるだろう？

環境問題に関心を持ち、自分ができていることを考える



第3次大船渡市環境基本計画 概要版

- 発行

大船渡市 市民生活部 市民環境課
tel 0192-27-3111 (代表)

- 発行年月 令和5年2月